

全国運動速報

【発行】 国鉄闘争全国運動事務局

2012年5月22日発行

千葉市中央区要町2-8 DC会館内

nationwidemovement@yahoo.co.jp

「最強の支部をつくる」

動労千葉、強制配転に対して 抗議ストと新支部結成で反撃



佐倉運輸区の開業当日の5月19日、動労千葉は、強制配転となった全組合員がストライキに決起し、新たに佐倉支部の結成をかちとりました(写真上)。

今回の運輸職場の統廃合攻撃は、組合破壊とローカル線切り捨てを狙うものです。5カ月に及ぶ線見訓練拒否の指名ストを貫徹し、最強の支部建設と組織拡大をかけて支部結成大会がストの渦中で行われました。佐倉運輸区の組合員に加え、他支部からも、100人を越える組合

員が駆けつけました。

前銚子支部長の渡辺靖正さんは「本日、動労千葉11番目の支部として佐倉支部を結成します。全員が活動家となり、佐倉運輸区での職場支配権を握って動労千葉最強の支部をつくらう」と訴えました。

田中康宏委員長は、昨年来の闘いについて「組織破壊攻撃を打ち破り、動労千葉の団結がいつそう強化された。これが最大の成果。ローカル線切り捨て反対の声も広がった」と総括。

さらに今秋にも検修業務の外注化の実施強行へ会社と東労組が動いていることを断罪し、「夏の過程が勝負だ」と訴えました。

新たな支部役員体制が確立され、佐倉支部組合員がずらりと並び、渡辺新支部長が決意表明。

◎国鉄闘争全国運動6・10全国集会
6月10日(日)午後1時(12時半開場)
文京シビックホール
(主催) 国鉄闘争全国運動

閉会あいさつに立った大野茂支部書記長(前千葉運輸区支部支部長)は「この結成大会の成功をもって組織破壊攻撃に完全に勝利したことを宣言する。組織拡大を実現し、さらに1ステップ、2ステップと飛躍を」と訴えました。

佐倉運輸区に怒りの シュプレヒコール

その後、開業したばかりの佐倉運輸区前に移動し、抗議行動を行いました。JR佐倉駅前や新庁舎前には管理者たちが緊張して並んでいます。渡辺新支部長を先頭に、佐倉支部の全員がマイクをとり、一人ひとりが強制配転への怒りをぶつけました。平成採の青年労働者に向かって「ともに闘おう」と呼びかけました(写真下)。

臨時大会を開催し新体制を確立した千葉運輸区支部と銚子支部の新支部長、幕張支部の山田護支部長らがマイクを握り、ともに闘う決意を示しました。